

平成28年9月

自治会
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

みんなの力で魅力ある自治会づくり

自治連だより

第52号

(上空から望む宇都宮)

発行：宇都宮市自治会連合会

〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1番5号
宇都宮市役所 みんなでまちづくり課内
TEL・FAX(兼用)(028)632-2289

平成28年度定期総会の開催

4月28日、市役所において、136名の代議員及び理事の出席を得て、平成28年度定期総会を開催しました。

ご来賓として佐藤宇都宮市長、渡辺市議会議長にご出席を賜り、ご祝辞をいただきました。

議長団には永井寛氏（河内地区）・齋藤斌氏（西原地区）が選出され、平成27年度事業報告・決算報告、平成28年度事業計画（案）・会費の額（案）・予算（案）、そして監事の竹田兼男氏（篠井地区）の自治会長退任にともなう後任監事の選任が審議されました。

各議案は何れも可決承認、監事には篠井地区の澤村信夫氏が選任されましたのでご報告いたします。



齋藤斌氏

永井寛氏



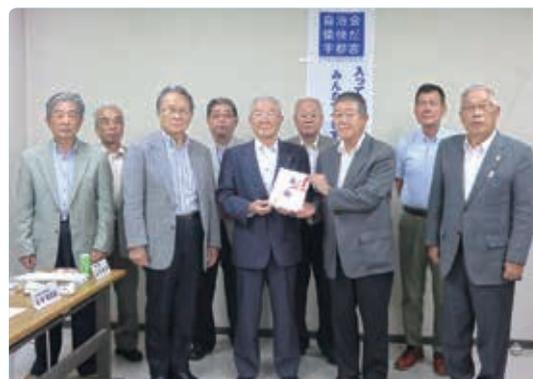
熊本地震災害義援金募集へのご協力、ありがとうございました。

震度7を観測する地震が4月14日夜、16日未明に発生し、甚大な被害をもたらした熊本地震は未だ避難生活を送られている方も多く、復興にはまだまだ時間がかかる状況です。

当連合会では被災された方々の救援のため、義援金の募集活動を行うことを決定し、会員の皆様にご協力を賜ることになりましたが、皆様のご厚意は17,685,352円にもなり、6月6日、宇都宮市社会福祉協議会を通じ、日本赤十字社へ義援金を贈呈いたしましたのでお知らせいたします。

東日本大震災、竜巻災害、豪雨災害と大きな災害が起こり、その都度、会員の皆様に義援金募集のご協力を賜り、このたびの熊本地震においても自治会の助け合いの精神が発揮され、被災された方々のお力になれたことと思います。

被害を受けた皆様方に心からお見舞いを申し上げますとともに、義援していただいた自治会員の皆さまに深く感謝いたします。



新任自治会長研修会を開催

6月26日、新任自治会長研修会を市役所にて開催しました。今年度は787自治会の内、262自治会で会長の改選があり、158名の新任自治会長が研修会に参加されました。

「自治会の運営と自治会長の役割」の講義と自治会活動紹介DVDをご覧いただき、その後、役員との意見交換会が行われました。地域の諸問題の対応方法や自治会長の役割についてなど多くの質問や意見が出されました。ご質問等は、今後の当連合会運営の参考とさせていただきます。

宇都宮市自治会連合会結成50周年記念事業実行委員会の経過報告

平成28年は当連合会結成50周年という節目を迎えることから平成27年度に記念事業実行委員会を設置し、今年度も引き続き協議を行い、事業成功に向け活動しています。皆さまに現在の進捗状況をお知らせします。

記念誌の発行

当連合会の変遷、市長との座談会、関係者の方からの寄稿、各地区のおいたちや活動を紹介するページを設け、現在編集作業中です。

記念式典の開催

開催日時 平成28年10月27日（木）午後1時30分から
場 所 栃木県総合文化センター メインホール

記念ロゴの作成

「絆と共助で築こう みんなの自治会」

シンボルマークの作成

51号の自治連だよりで募集いたしましたシンボルマークが決まりました。10月27日の記念式典にて発表し、次回の自治連だよりで皆さまにお知らせいたします。



宇都宮市自治会連合会役員一覧

()内は地区名、敬称略

会 長	金田 貞夫 (緑が丘)	理 事	日渡 正文 (桜)	理 事	印南 洋造 (平石)
副会長	永井 久司 (東)	理 事	平野 勝 (篠井)	理 事	岡村 光教 (富士見)
副会長	小野 義一 (石井)	理 事	松本 晋 (城東)	理 事	大谷 和大 (細谷)
副会長	島田 弘二 (明保)	理 事	前田 隆 (昭和)	理 事	坂本 保夫 (瑞穂野)
副会長	岩戸 肇 (五代若松原)	理 事	阿部 操 (城山)	理 事	吉田 宏 (峰)
副会長	藤原 由房 (御幸ヶ原)	理 事	稲葉 豊 (雀宮)	理 事	益子 則行 (御幸)
会 計	十河 敏之 (姿川)	理 事	大金 勇夫 (宝木)	理 事	奈良 勇 (築瀬)
会 計	田野實和夫 (宮の原)	理 事	水島 潔 (中央)	理 事	小栗 秀夫 (陽光)
理 事	岩倉 健一 (泉が丘)	理 事	竹之内英明 (戸祭)	理 事	植木 稔 (陽東)
理 事	大森 幹夫 (今泉)	理 事	入江 利長 (富屋)	理 事	津川 敏夫 (陽南)
理 事	川津 昭夫 (上河内)	理 事	坂本 登 (豊郷)	理 事	森山 和則 (横川)
理 事	川上 幸子 (河内)	理 事	津川 辰雄 (西)	監 事	阿久津秀人 (清原)
理 事	古澤 勝司 (清原)	理 事	橋本 榮治 (錦)	監 事	澤村 信夫 (篠井)
理 事	平野 昇一 (国本)	理 事	中山 剛夫 (西原)		

民俗文化の継承は地域住民の結束の証！

今から約25年前、宇都宮市自治会連合会は宇都宮市の文化財調査に地域の皆さまと協力し、「宇都宮市屋台・天棚等調査報告書」と「うつのみや屋台・山車・天棚組み立ての記録」の2冊を発行しました。

調査当時市内には、江戸末期から明治期にかけて建造された屋台・天棚等は76基が確認されていましたが、残念ながら戦争の空襲で焼失し彫刻の一部しか残っていないものや、部材が欠損して組建たないものもあり、63基で調査は終了となりました。



徳次郎の夏祭り

その様な中、“自治連だより第46号（平成25年9月発行）”では、篠井地区石那田の天王祭で6台の屋

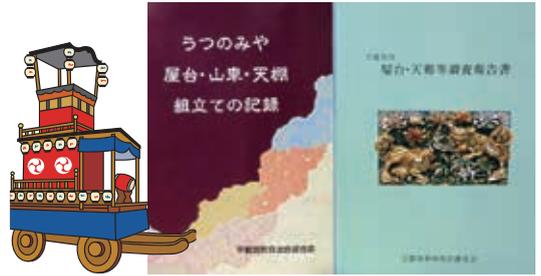
台が集合した記事を掲載しましたが、本年は富屋地区徳次郎の夏祭りでも6年ぶり（3年前は雨天中止）に6台の屋台が賑やかに巡行されました。市内北部地域には併せて12台の屋台が集中して現存し、今もなお地域に根差したお祭りに活用されていることは、宇都宮市民として大変誇らしく思います。

ただ、屋台や山車・天棚等があれば良いのではなく、お囃子方や世話人衆・裏方衆など沢山の人の協力があるお祭りであり、その伝承は重要な課題で、参加している地域内の人・里帰りの親戚の方々や見物に来た人など、全ての人が楽しみ活力を生み出すことができる、これが本来の地域活動であり、「自治会」の原点ではないでしょうか。

余談ではございますが、地元の皆さんがカップアイスや手作りの赤飯おにぎり・お漬物などを見物客にお裾分けする様子は、私が25年前の調査時に受けたオモテナシと同じく、その心が現在も息づいていることを再発見でき、嬉しく思いました。

また、平成26年の菊水祭では「宮のにぎわい山車復活プロジェクト」が西地区新石町にあった火焰太鼓山車を復活巡行し、更に本年は西原地区南新町下組の桃太郎山車も復元し、103年ぶりで町内にお披露目巡行されました。桃太郎山車も今年の菊水祭に巡行予定ですが、常時、宇都宮城址公園に保管・展示されていますので、見学に訪れてはいかがでしょうか。

市内にはお祭りだけではなく、地域の宝である素晴らしい文化や行事が沢山あります。まず、地元の自治会からアンテナを張りめぐらせて、興味を持って参加できるものを探し出してみましょう。



火焰太鼓山車



桃太郎山車



宇都宮市では「特殊詐欺撃退機器」を無料で貸出します。

宇都宮市では、「特殊詐欺」の被害から市民の皆さんの大切な財産を守るため、「特殊詐欺撃退機器」を無料で貸出します（1,000台）。

特殊詐欺被害が
非常事態！

貸出期間は 概ね6カ月間

貸出期間終了後も引き続き使用したい場合は、機器を譲渡することができます。（有料）



○ 市の職員が設置に伺います。

申し込み・お問い合わせ先 ⇒ **TEL 028-616-1561**

（宇都宮市消費生活センター）

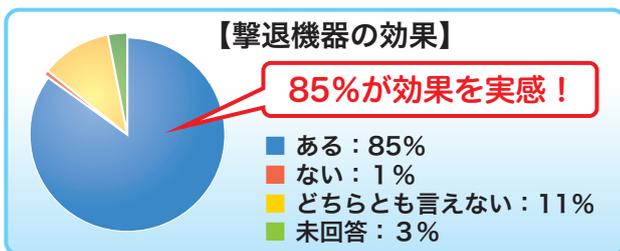
対象者 (右のいずれかに該当する人)	① 65歳以上で一人暮らし世帯 ② 65歳以上の夫婦世帯 ③ 日中、65歳以上の方のみの世帯
費用	無料。ただし、使用に掛かる電気代（月約40円程度）は自己負担となります。
注意事項	・職員が順次設置をしていきますので、機器の設置までに時間が掛かる場合があります。 ・申込状況等により、設置が遅くなる場合があります。 ・電話回線の状況などで設置ができない場合があります。 (緊急連絡装置や、電話回線を使用する警備システムを使用しているなど)

○ 特殊詐欺撃退機器とは？

固定電話機に設置するもので、相手方に対し警告アナウンスを流します。犯人は録音されることを嫌がるため、犯人と会話に至る前に電話に繋がりにくくすることができます。



○ 栃木県警察による貸出事業でのアンケート結果



ありがとうございました

本年のふるさと宮まつり賛助金募集には、皆様方にご協力を賜り総額7,948,411円が集められました。

開催委員会から「ふるさと宮まつりが盛大に開催することができました。」と、お礼のあいさつをいただきましたのでお知らせします。

編集後記

宮まつりパレードに当連合会各地区の理事が今年も参加しました。二荒山神社前ではオープニングパレードを見るため多くの人々が集まり、まつりへの期待と楽しみたいという思いであろうその姿は一体となり、まつりは不思議な力があるものと感じました。

自治会の皆様の賛助が運営の大きな役割を果たしているこのまつりは今後も絶やさず継承することができる夏の行事と再認識しました。